

中学校社会科 単元指導計画（公民的分野） **【例】**

※指導と評価の計画について、「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料中学校社会（国立教育政策研究所）を参考に作成しています。また、1単位時間の学習課題（問い）を示しています。大分県ウェブサイトの「新学習指導要領対応 小・中学校各教科等学習指導案様式例（令和3年3月3日更新）」とは項目が異なっていますが、参考としてご活用ください。

○単元名 「現代社会の見方や考え方」 （内容のまとめりA私たちと現代社会（2）現代社会を捉える枠組み）

学習指導要領の目標や内容、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方等を踏まえ、中項目「現代社会を捉える枠組み」を単元とした計画の例である。

○単元の目標

- ・現代社会の見方や考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解させるようにする。また、人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させるようにする。
- ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現するようにする。
- ・現代社会に見られる課題の解決に向けて、自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に社会に関わろうとするようにする。

○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現代社会の見方や考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 ②人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。	①対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。	①現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決に向けて自らの学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に追究したり、社会に関わろうとしていたりしている。

○指導と評価の計画（全6時間）

単元(=中項目)を貫く学習課題(問い):現代社会の課題を解決するためには、私たちはどのような視点をもって関わっていくことが大切だろうか。→よりよい〇〇中学校にするためには、平日の体育館の部活動割り当てはどのようにすればよいだろうか。※工事のために2つある体育館の1つが使用できなくなったという実際の出来事から学習課題を設定した。

時	主な学習活動・ねらい	学習課題(問い)	評価の観点			評価規準 評価方法
			知	思	態	
1	私たちが社会集団の中で生きていることを確認し、対立が生じることや合意形成のための努力がなされていることを確認する。 具体的な事例から、単元の課題を設定し、自分の考えを書いたり、学習計画を立てたりし、学習の見通しをもたせる。	よりよい〇〇中学校にするためには、平日の体育館の部活動割り当てはどのようにすればよいだろうか。 ※対立と合意				① 【態①】単元を貫く学習課題について自分の考えを書いている。また、単元の学習計画を立て、見通しをもつことができている。 ワークシート

2	課題解決のために必要な情報を付箋に書き出させ、分類したり吟味したりする活動を通して、効率や公正について気付かせる。	課題解決について考えるためには、どのような情報を収集すればよいだろうか ※効率と公正	①	①	【知①】対立と合意、効率と公正などについて理解している。 【思①】課題解決に必要な情報について考察している。 ワークシート
3	物事の決定のしかたや決まりの意義について個人で調べ、ペアで社会集団と関連付けて考察させる。 考えを班で交流し、体育館の割り当てを決める方法や手続きについて考え、具体的な計画を立させる。	課題解決のためには、どのような方法や手続きが必要だろうか		①	【思①】対立と合意、効率と公正などに着目して、合意形成のための適切な方法や手続き、決まりの意義について、多面的・多角的に考察している。 ワークシート
4	班で考えた具体的な方法や手続きを交流し、課題解決に向けて、対立と合意、効率と公正に着目して多面的・多角的に考察し、表現させる。	課題解決のためには、どのような方法や手続きが必要で、どのような情報を収集すればよいだろうか		①	【思①】対立と合意、効率と公正などに着目して、合意形成のための適切な方法や手続き、決まりの意義について、多面的・多角的に考察している。 ワークシート
5	収集した情報を、効率と公正に着目させて分類(4象限)させ、課題について多面的・多角的に考察し、根拠と理由を明確にして表現させる。	よりより〇〇中学校にするためには、平日の体育館の部活動割り当てはどのようにすればよいだろうか	① ②	①	【知①②】合意形成のための適切な方法や手続き、決まりの意義について理解している。 【思①】対立と合意、効率と公正などに着目して、課題について多面的・多角的に考察し、根拠と理由を明確にして文章で書いている。ワークシート
6	前時に考察した内容を交流する活動を通して、効率と公正の観点から自分たちの考えを見直させる。 単元のまとめ、振り返りをさせる。	体育館の部活動割り当てについて、欠けている視点はないだろうか 現代社会の課題を解決するためには、どのような視点をもって関わっていくことが大切だろうか	① ②	① ①	【知①②】対立と合意、効率と公正などについて理解している。また、両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 【思①】対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、決まりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 【態①】体育館の割り当てのより良いあり方について、自己の学習を振り返りながら粘り強く取り組み、主体的に考え、自己の生活に生かそうとしている。 ワークシート

単元のまとめ 個人の尊厳や両性の本質的平等などの人権を守っていくためにも、対立から合意に向けて努力することが必要である。その際、より少ない資源を使って社会全体でより大きな成果を得るという「効率」の視点と、公正の視点をもつことが大切であり、公正については、結果だけでなく、機会の公正についても考えることが重要である。

- ・・・学習状況を見取り、生徒の成長を認め励ますとともに必要に応じて指導、支援を行う「学習改善につながる評価」
- ・・・観点別学習状況の評価や評定に用いる「記録に残す評価」